

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター熊本西



○事業所名	COMPASS発達支援センター熊本西			
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 11日		～	7年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 7日		～	令和7年 10月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会を実施しております。複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者へ確認をおこない、法令に沿った事業所運営に努めております。	ご利用者様が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	具体的に細分化された独自のアセスメントシートを使用し、一人ひとりの発達状況に応じた支援計画を作成しております。	アセスメントシートを活用し、児童一人ひとりの発達状況や特性を把握しながら、個別の目標設定がおこなえるよう努めております。	支援の専門性の質を高めるため、外部での研修機会を活用してまいります。
3	利用児童の課題や現状への理解を図るための定期的な支援会議をおこなっております。	課題に対して各職種の視点から支援に関する意見を出し合い、共通認識のもと支援に取り組んでおります。	ご家庭や各関係機関との連携内容を支援会議に反映し、より充実した支援の提供に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない状況です。	利用児童の安全面・感染症・個人情報などを考慮し、実施できていない状況です。	地域の施設や公共機関と連携し、地域交流の機会を検討するとともに、保護者様へ地域交流の目的や必要性についても丁寧にお伝えしてまいります。
2	保護者同士の交流の機会が少ない状況です。	交流の機会を望むご家庭もある一方で、個人情報保護や過剰な干渉を懸念するご家庭も多く、開催が難しい状況です。	少人数でのグループイベントなどを検討し、参加しやすい環境を整えてまいります。
3	施設を見ていただく機会が少ない状況です。	就業されている保護者様が多いため、ご見学いただく機会が少なくなっております。	就業されている保護者様が多く、来所いただく時間の確保が難しいことが要因と考えております。



公表日：令和8年3月10日